

つながる思いと願い～「校旗」と「御衣黄桜」～

校長 飯塚 進

1年生の保護者の方から、東豊小学校の創立期に、「校旗」を寄贈してくださった小林澄枝様のお話を伺いました。校長室で校旗の入ったケースを確認したところ、確かに御名前が記されておりました。日付は平成元年3月20日となっております。是非お会いして、お礼とその当時のお話を伺いたいと思いましたが、残念ながら、小林様はすでに御逝去されたとのことでした。改めましてお礼を申し上げたいと思います。



また、別の日に、当校の職員が、なかよし山にある桜は、「御衣黄桜」というめずらしい桜だと思いと教えてくださいました。私はそういう知識がないため、いくつかの方法で調べたところ、確かに「御衣黄桜」であると思われました。この御衣黄桜というのは、ソメイヨシノが咲き終わる頃咲き始め、最初は淡い緑色の花であり、だんだんと黄色に近づいていくとのことでした。「御衣」とは、貴族の着物のこと意味し、緑色の花びらが、平安時代の貴族の衣服の色に近いことが由来のようです。ソメイヨシノに比べると少なく、全国的にもめずらしい桜の1つだそうです。

「校旗」と「御衣黄桜」。小林様はどんな思いや願いをもって「校旗」を寄贈していただいたのでしょうか。「御衣黄桜」だけではなく、ソメイヨシノ、しだれ桜、八重桜、ザクロ、銀杏、黒松・・・など、東豊小学校には本当にたくさんの木が植えられています。その当時の地域の皆様はどんな思いや願いをもって植樹していただいたのでしょうか。

今、東豊小学校で過ごしている私たちは、そんな過去からつながる思いや願いにも心を寄せていく必要があると思います。